

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 5 月 17 日

事務事業名		市民文化祭事業				区 分		事務事業No.	32434083		
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	83		
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課			
政策体系	行政評価施策名	17	生涯学習・芸術文化活動の推進			<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会		
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	文化生涯学習課	34	
	施策名	2	生涯学習・芸術文化活動の推進			<input type="checkbox"/>	新規事業	<input checked="" type="checkbox"/>	継続事業	課長名	杉山文男
	基本事業名	4	市民文化活動の促進			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業	<input type="checkbox"/>	補助事業	所属係	文化振興係
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	飯塚亮子		
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ		
	1	10	5	3	1	文化振興事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し (18 年度～)		
法令根拠						<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度(年度～ 年度)				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 ➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
桜川市市民文化祭実行委員会を設立。
芸術文化活動の一環として、市民が日ごろ活動している成果発表の場を提供。

【担当者が行う業務の手順】
実行委員会会議開催
市民文化祭の広報、参加者募集案内。(10月～11月、市民文化祭作品展、華道展、菊花展、囲碁大会、将棋大会、茶会、短歌大会、俳句大会、自然、音楽祭、芸能祭、ダンスパーティ等、種目別に開催。)
会場の予約、団体のリハーサル等、担当者との連絡調整(大和体育館(真壁・大和地区)、岩瀬地区は岩瀬中央公民館、ダンスパーティは桜川市総合体育館(ラスカ)芸能祭、音楽祭は大和ふれあいセンター(シトラス)で開催)
児童生徒美術作品展の同時開催にあたり、学校教育関係者との連絡調整。

【事業費の内訳】 市民文化祭補助金

(1) 事務事業の目的			
① 手段(22年度 実際に行った主な活動) 音楽祭、芸能祭、作品展、児童生徒美術作品展、茶会、短歌大会、俳句大会、囲碁将棋大会、菊花展、ダンスパーティ、ふるさと鳥瞰などを開催。 アンケート調査の実施。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
		ア 開催日数	日
		イ 参加人員	人
		ウ 事業種目	事業
		エ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 一般市民、園児、小学生、中学生、高校生	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
		ア 参加人員	人
		イ 参加校数	校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 芸術文化活動、生涯学習の成果発表の機会を提供。文化活動意欲の向上及び市民交流。アンケートによる意識調査	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		ア 参加者数	人
		イ 出品数	点
		ウ アンケート回答件数	件
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 市民の生涯学習、作品制作意欲の向上、市の文化芸術の振興、レベルアップ	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
		ア 来場者数	人
		イ 市内サークル数	団体

(2) 指標値の推移										
区分		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (計画)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	28年度 (目標)	
⑤活動指標	ア	日	21	15	30	30	30	30	30	
	イ	人		1,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
	ウ	事業	14	13	15	15	15	15	15	
	エ									
⑥対象指標	ア	人	16	1,800	2,714	2,800	2,800	2,800	2,800	
	イ	校		22	22	24	24	24	24	
	ウ									
⑦成果指標	ア	人	2,650	2,000	2,714	2,800	2,800	2,800	2,800	
	イ	点	1,622	1,800	500	500	500	500	500	
	ウ	件		300	300	300	300	300	300	
⑧上位成果指標	ア	人	1,300	1,700	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
	イ	団体		796	172	180	180	180	180	
(3) 投入量(事業費)の推移			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円						
			使用料・手数料	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	850	850	850	850	850	850
	事業費計 (A)		千円	850	850	850	850	850	850	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	1,145	1,140	1,137	1,135			
		人件費計 (B)	千円	3,601	3,585	3,692	3,685	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,451	4,435	4,542	4,535	850	850

期間限定 総投入量									
0									

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

市民が日頃の芸術創作活動の成果を発表、展示するとともに多くの市民が、これらを鑑賞する機会をもつことにより、心豊かで潤いのある生活をする事ができるよう、また桜川市の文化の振興に寄与することを目的として開催、市民祭の一部として文化の日前後に開催していたが、平成20年度より予算面でも独立、市民文化祭となった。合併したのちも、作品展、茶会、いけばな展については会場や参加者の高齢化等の問題から、岩瀬地区、大和地区、真壁地区それぞれで開催。市民文化祭とは言いながらも、引き続き合同開催にはいたらず、内容のマンネリ、作品の質賞低下、見学者、参加者の数も減少傾向にある。平成21年度はそうした課題を解決するため、学校教育への参加や一般への参加の呼びかけをおこなった。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

PR不足。作品展、いけばな展など旧町村単位の開催があっても良いが、市民の作品を一堂に観覧出来る機会、会場があるとよい。

22年度は音楽祭に、一般公募した音楽サークルが参加。結果。市内の保育園児、ジャズ、クラシックアンサンブルの団体が参加。マンネリ化したプログラムに新鮮味が加わり、観客数も増加、にぎやかな音楽祭となった。継続を望む声あり。

児童生徒美術作品展も市民文化祭と同時期に大和体育館で開催。児童の家族も多数来場し、一般作品と一緒に観賞でき、継続を望まれている。

事務事業名	市民文化祭事業	事務事業No.	32434083	所属課	文化生涯学習課
-------	---------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評 価 項 目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 生涯学習、芸術文化活動の推進に整合 <div><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</div>
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 市民の学習、文化活動に対する意識啓発を図り、市民同士の学びの和、交流、人材育成を図る <div><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</div>
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 市文化協会団体ばかりでなく、広く参加を呼びかける。総合生活文化祭的な内容にとどまっているため、マンネリズム化している。会期の日程的にも、秋に限らず春季に開催するなど、多くの人が参加できる機会をつくる。 <div><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である</div>
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 市民文化祭の作品展について、書道、絵画など部門別に開催することで、マンネリ化を防ぎ、作品の資質向上と、専門的な「芸術祭」に発展できる。また、若年層が参加できる企画を試み、文化振興の広さや深みを図っていく。 <div><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない</div>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 生涯学習、文化活動の促進が出来ない。市の文化振興が低下。 <div><input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有</div>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input type="checkbox"/> 公民館講座との連携 <div><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる</div>
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 専門別に分けているが、最低限の事業費である。 <div><input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</div>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 市民文化祭実行委員会の事務局および、文化祭の会場準備、リハーサルなどを市文化振興係が担当しているため、削減が難しい。 <div><input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</div>
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正公平である。 <div><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</div>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	活動の停滞、高齢化、プログラムのマンネリ化、来場者の減少を打破するため、学校教育や市内音楽愛好者、社会福祉施設への参加のよびかけをした。結果、市民の交流や関心が高くなり、作品の資質も向上した。 文化振興事業として、市民の芸術文化の発表の場かつ鑑賞する機会を地域(地区)にもつことばかりではなく、高校生や小中学生の作品を一堂に鑑賞する機会をもつことは公表であった。 文化祭の広報が市内に十分に行きとどかず、来場者数が減少した。広報の時期、方法は今後の課題である。																							
(3) 今後の事業の方向性																								
<div><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持</div> <div>(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる</div>																								
(3)-1 改革改善策 自主運営組織の設立や市文化協会との共催という形で運営体制をつくる。多くの市民に参加、来場してもらうために、チラシの各戸配布や市HPなどを利用し、PR活動を充実させる。																								
(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>X</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>X</td><td>X</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			X																				
	低下		X	X																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民文化祭の意図や発展性を協議。公民館講座の発表会とだぶって考えている市民も多く、参加作品数に偏りがある会場もある。人材育成や子どもたち及び若年層への参加要請と参加出来る企画(音楽祭、講演会、公演、アート)などを検討する。																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <div></div>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項